

2022年度 学校囲碁授業普及補助実施報告

学校名：春日部市立川辺小学校

【実施内容とその成果】

囲碁に学校教育の中で触れられることは、単なる趣味や楽しみとして囲碁をするだけではなく、礼儀作法、コミュニケーション能力、バランス感覚、集中力、の向上に役立ち、日本の伝統文化の継承者として” 囲碁をたしなむ” という姿勢が培われたと思われます。また社会に開かれた学校づくりの観点からも、関係者の協力により、地域住民の教育力を活用し、児童の育成が図られることは、学校と地域の関係を深めるよい機会になったと思われます。児童の棋力向上については、「9路盤で対局し、終局まで出来る 20級レベル」の目標は全員達成できたものと思われます。また「13路盤で対局し、終局まで出来る 16級レベル」については半年間の短い期間でもあったため、個々の棋力にばらつきがあり、16級までは”あと一歩”の児童が見受けられることは否めません。尚、日本棋院の棋力認定状授与については、児童の取り組み意欲向上の励みになったと思われます。